

NEC Express5800シリーズ Express5800/i110Rb-1h

システム設定の変更

マザーボードの入力システムの設定方法について説明します。

本装置を導入したときやオプションの増設/取り外しをするときはここで説明する内容をよく 理解して、正しく設定してください。

システムBIOS (SETUP) のセットアップ (32ページ)

本装置の基本入出力システムのセットアップをするためのユーティリティ 「SETUP」の使用方法と各種パラメータについて説明します。また、内蔵の CMOSに保存されたSETUPの設定値をクリアするジャンパピンの設定につい ても併せて説明します。

割り込みライン(59ページ) マザーボードの割り込みの設定について説明しています。

システムBIOS (SETUP) のセットアップ

Basic Input Output System (BIOS)の設定方法について説明します。

本装置を導入したときやオプションの増設/取り外しをするときはここで説明する内容をよく 理解して、正しく設定してください。

SETUPはハードウェアの基本設定をするためのユーティリティツールです。このユーティリ ティは本体内のフラッシュメモリに標準でインストールされているため、専用のユーティリ ティなどがなくても実行できます。

SETUPで設定される内容は、出荷時に最も標準で最適な状態に設定していますのでほとんど の場合においてSETUPを使用する必要はありませんが、この後に説明するような場合など必 要に応じて使用してください。

> SETUPの操作は、システム管理者(アドミニストレータ)が行ってく ださい。
> SETUPでは、パスワードを設定することができます。パスワードには、 [Supervisor]と[User]の2つのレベルがあります。[Supervisor] レベルのパスワードでSETUPを起動した場合、すべての項目の変更が できます。[Supervisor]のパスワードが設定されている場合、 [User]レベルのパスワードでは、設定内容を変更できる項目が限られ

「USEI」レベルのバスソートでは、設定内容を変更できる項目が限られます。

- OS (オペレーティングシステム)をインストールする前にパスワード を設定しないでください。
- SETUPは、最新のバージョンがインストールされています。このため 設定画面が本書で説明している内容と異なる場合があります。設定項目 については、オンラインヘルプを参照するか、保守サービス会社に問い 合わせてください。
- SETUPはExitメニューまたは<Esc>、<F10>キーで必ず終了してく ださい。SETUPを起動した状態でパワーオフ、リセットを行った場合 にはSETUPの設定が正しく更新されないことがあります。

起 動

本体の電源をONにするとディスプレイ装置の画面にPOST(Power On Self-Test)の実行内容が表示されます。「NEC」ロゴが表示された場合は、<Esc>キーを押してください。

しばらくすると、次のメッセージが画面左下に表示されます。

Press <F2> to enter SETUP

ここで<F2>キーを押すと、SETUPが起動してMainメニュー画面を表示します。

以前にSETUPを起動してパスワードを設定している場合は、パスワードを入力する画面が表示されます。パスワードを入力してください。

Enter password E

J

パスワードの入力は、3回まで行えます。3回とも誤ったパスワードを入力すると、本装置は 動作を停止します(これより先の操作を行えません)。電源をOFFにしてください。



キーと画面の説明

キーボード上の次のキーを使ってSETUPを操作します(キーの機能については、画面下にも 表示されています)。

							J	見在表示し	している メニ	ューを示す
サブメニューが			Ph	ioenix Trust	tedCore	(tm) Setu	þ Utilit	y		
あることを示す	\mathbf{N}	Main	Advanced	Securi	ty	Server	Bo	oot	Exit	オンライン
設定項目		System Manag Console Red Event Log Co Assert NMI of Assert NMI of ReB-2 Policy Boot Monitor Thermal Sens BMC IRQ: Post Error F AC-LINK: Power ON Del Platform Event Commentation Sense Platform Event Commentation Sense Platform Event Commentation Sense Platform Event Commentation Sense Commentation Sense Commentati	gement irection onfiguration on PERR: on SERR: /: ring Policy: sor: Pause: Lay Time: ent Filtering	[Enabled Enabled Disable Disabled ERetry 3 EFRabled ELAST ST. ERabled ELAST ST. E 20J E Enabled) BSP] d] times]] ate]]			Item 5 Additiona view serv features.	Specific Help Il setup menus i rer management	ヘルフ ウィンドウ
		F1 Help Esc Exit	†↓ Select ←→ Select	t Item t Menu	- /+ Enter	Change V Select 🕨	/alues ▶ Sub-Mo	F9 enu F10	Setup Default Save and Exit	s
		キーの機能調	说明	パラメー	・ -タ (j	選択する	と文字	が反転す	る*)	
				* 自動 報の 項目(的にコ 表示の はグレ	ンフィク みやパス ーアウ	ゲレーシ スワート トされた	ションされ ドの設定に に表示にな	れたものや検(こより変更が なります。	出されたもの、情 許可されていない

- □ カーソルキー(↑、↓)
 画面に表示されている項目を選択します。文字の表示が反転している項目が現在選択されています。
- □ カーソルキー (←、→)
 MainやAdvanced、Security、Server、Boot、Exitなどのメニューを選択します。
- <->キー/<+>キー 選択している項目の値(パラメータ)を変更します。サブメニュー(項目の前に
 「▶」がついているもの)を選択している場合、このキーは無効です。
- □ <Enter>キー 選択したパラメータの決定を行うときに押します。
- □ <Esc>キー ひとつ前の画面に戻ります。また値を保存せずにSETUPを終了します。
- □ <F9>キー 現在表示している項目のパラメータをデフォルトのパラメータに戻します(出荷時 のパラメータと異なる場合があります)。
- □ <F10>キー SETUPの設定内容を保存し、SETUPを終了します。

設定例

次にソフトウェアと連携した機能や、システムとして運用するときに必要となる機能の設定例 を示します。

日付・時刻関連

 $[Main] \rightarrow [System Time], [System Date]$

管理ソフトウェアとの連携関連

「ESMPRO/ServerManager」を使ってネットワーク経由で本体の電源を制御する

[Advanced] → [Advanced Chipset Control] → [Wake On LAN/PME] → [Enabled]

UPS関連

UPSと電源連動(リンク)させる

- UPSから電源が供給されたら常に電源をONさせる 「Server」→「AC-LINK」→「Power On」
- POWERスイッチを使ってOFFにしたときは、UPSから電源が供給されても電源を OFFのままにする 「Server」→「AC-LINK」→「Last State」
- UPSから電源が供給されても電源をOFFのままにする 「Server」→「AC-LINK」→「Stay Off」

起動関連

本体に接続している起動デバイスの順番を変える

「Boot」→起動順序を設定する

POSTの実行内容を表示する

「Advanced」→「Boot-time Diagnostic Screen」→「Enabled」 「NEC」ロゴの表示中に<Esc>キーを押しても表示させることができます。

リモートウェイクアップ機能を利用する

モデムから:	$ \begin{bmatrix} Advanced \end{bmatrix} \rightarrow \begin{bmatrix} Advanced Chipset Control \end{bmatrix} \\ \rightarrow \begin{bmatrix} Wake On Ring \end{bmatrix} \rightarrow \begin{bmatrix} Enabled \end{bmatrix} $
LANから:	$\begin{bmatrix} Advanced \end{bmatrix} \rightarrow \begin{bmatrix} Advanced Chipset Control \end{bmatrix} \\ \rightarrow \begin{bmatrix} Wake On LAN/PME \end{bmatrix} \rightarrow \begin{bmatrix} Enabled \end{bmatrix}$
PCIデバイスから:	$\begin{bmatrix} Advanced \end{bmatrix} \rightarrow \begin{bmatrix} Advanced Chipset Control \end{bmatrix} \\ \rightarrow \begin{bmatrix} Wake On LAN/PME \end{bmatrix} \rightarrow \begin{bmatrix} Enabled \end{bmatrix}$
RTCのアラームから:	$\begin{bmatrix} Advanced \end{bmatrix} \rightarrow \begin{bmatrix} Advanced Chipset Control \end{bmatrix}$ $\rightarrow \begin{bmatrix} Wake On RTC Alarm \end{bmatrix} \rightarrow \begin{bmatrix} Enabled \end{bmatrix}$

HWコンソール端末から制御する

「Server」→「Console Redirection」→ それぞれの設定をする

メモリ関連

搭載しているメモリ(DIMM)の状態を確認する

「Advanced」→「Memory Configuration」→「DIMM #n Status」→表示を確認する (n: 1~2)

メモリ(DIMM)のエラー情報をクリアする

「Advanced」→「Memory Configuration」→「Memory Retest」→ 「Yes」→再起動 するとクリアされる

CPU関連

搭載しているCPUの状態を確認する

「Main」→「Processor Settings」→ 表示を確認する

画面に表示されている CPU番号とマザーボード上のソケットの位置は上図のように対応 しています。

CPUのエラー情報をクリアする

「Main」→「Processor Settings」→「Processor Retest」→「Yes」→ 再起動すると クリアされる

キーボード関連

Numlockを設定する

「Advanced」→「NumLock」→「On」(有効) / 「Off」(無効:初期値)

イベントログ関連

イベントログをクリアする

 $[Server] \rightarrow [Event Log Configuration] \rightarrow [Clear All Event Logs] \rightarrow [Enter] \rightarrow [Yes]$

セキュリティ関連

BIOSレベルでのパスワードを設定する

「Security」→「Set Supervisor Password」→ パスワードを入力する 管理者パスワード (Supervisor)、ユーザーパスワード (User) の順に設定します

外付けデバイス関連

I/Oポートに対する設定をする

「Advanced」→「Peripheral Configuration」→ それぞれのI/Oポートに対して設定をする

内蔵デバイス関連

本装置内蔵のPCIデバイスに対する設定をする

「Advanced」→「PCI Configuration」→ それぞれのデバイスに対して設定をする

ディスクアレイコントローラボードを取り付ける

「Advanced」→ [PCI Configuration] → [PCI Slot n Option ROM] → [Enabled] n: PCIスロットの番号

ハードウェアの構成情報をクリアする(内蔵デバイスの取り付け/取り外しの後)

「Advanced」→「Reset Configuration Data」→「Yes」→再起動するとクリアされる

設定内容のセーブ関連

BIOSの設定内容を保存する

[Exit] → [Exit Saving Changes]

変更したBIOSの設定を破棄する

「Exit」→「Exit Discarding Changes」または「Discard Changes」

BIOSの設定をデフォルトの設定に戻す(出荷時の設定とは異なる場合があります)

「Exit」 → 「Load Setup Defaults」

現在の設定内容を保存する

 $[\mathsf{Exit}] \to [\mathsf{Save Changes}]$

現在の設定内容をカスタムデフォルト値として保存する

[Exit] → [Save Custom Defaults]

カスタムデフォルト値をロードする

FExit → FLoad Custom Defaults

パラメータと説明

SETUPには大きく6種類のメニューがあります。

- Mainメニュー (→39ページ)
- Advancedメニュー (→41ページ)
- Securityメニュー (→47ページ)
- Serverメニュー (→49ページ)
- Bootメニュー (→54ページ)
- Exitメニュー (→55ページ)

このメニューの中からサブメニューを選択することによって、さらに詳細な機能の設定ができます。次に画面に表示されるメニュー別に設定できる機能やパラメータ、出荷時の設定を説明 します。

Main

SETUPを起動すると、はじめにMainメニューが表示されます。項目の前に「▶」がついているメニューは、選択して<Enter>キーを押すとサブメニューが表示されます。

Phoenix TrustedCore(tm) Setup Utility						
Main	Advanced	Security	Server	Boot	Exit	
		5 40.50			Item Specific Help	
System Tim System Dat	e: e:	L(14:18:58) C04/04/20(D63	<ta <en< td=""><td>b>, <shift-tab>, or ter> selects field.</shift-tab></td></en<></ta 	b>, <shift-tab>, or ter> selects field.</shift-tab>	
SATA Port	1	ENone]				
SATA Port	2	ENone]				
▶ Processor	Settings					
Language:		EEnglish	(US)]			
F1 Help Esc Exit	†↓ Select ←→ Select	t Item – /+ t Menu Enter	Change Valu r Select ▶ Su	ues Ib-Menu	F9 Setup Defaults F10 Save and Exit	

Mainメニューの画面上で設定できる項目とその機能を示します。

項目	パラメータ	説明
System Time	HH:MM:SS	時刻の設定をします。
System Date	MM/DD/YYYY	日付の設定をします。
SATA Port 1	-	それぞれのチャネルに接続されているデバ
SATA Port 2		イスの情報をサブメニューで表示します。
		一部設定を変更できる項目がありますが、
		出荷時の設定のままにしておいてください。
Processor Settings	-	プロセッサ(CPU)に関する情報や設定をする
		画面を表示します(40ページ参照)。
Language	[English (US)]	SETUPで表示する言語を選択します。
	Français	
	Deutsch	
	Español	
	Italiano	

[]: 出荷時の設定



Processor Settingsサブメニュー

Mainメニューで「Processor Settings」を選択すると、以下の画面が表示されます。

Phoenix TrustedCore(tm) Setup Utility					
Main					
Processor Setting	JS	Item Specific Help			
Processor Retest:	[<mark>No</mark>]	Select 'Yes' , BIOS will clear historical			
Processor Speed Setting:	3000 MHz	processor status and retest all processors			
Processor 1 CPUID:	06F5	on next boot.			
Processor i L2 Cache:	IUZ4 KB				
Execute Disable Bit:	[Disabled]				
Intel(R) Virtualization Tech:	[Disabled]				
F1 Help ↑↓ Select Item Esc Exit ←→ Select Menu	– /+ Change Values Enter Select ▶ Sub-Men	F9 Setup Defaults u F10 Save and Exit			

項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説明
Processor Retest	[No]	プロセッサのエラー情報をクリアし、次回
	Yes	起動時にすべてのプロセッサに対してテス
		トを行います。このオプションは次回起動
		後に自動的に「No」に切り替わります。
Processor Speed Setting	_	搭載しているプロセッサのクロック速度を
		表示します。
Processor 1 CPU ID	数値(0xxx)	数値の場合はプロセッサ1のIDを示します。
	Disabled	「Disabled」はプロセッサの故障、「Not
	Not Installed	Installed」は取り付けられていないことを示
		します(表示のみ)。
Processor 1 L2 Cache	-	プロセッサ1の二次キャッシュサイズを表示
		します(表示のみ)。
Execute Disable Bit	[Disabled]	Execute Disable Bit機能をサポートしている
	Enabled	CPUのみ表示されます。この機能を使用す
		るかどうかを設定します。
Intel(R) Virtualization Tech	[Disabled]	インテルプロセッサーが提供する「仮想化
	Enabled	技術」の機能の有効/無効を設定します。

[]: 出荷時の設定

Advanced

カーソルを「Advanced」の位置に移動させると、Advancedメニューが表示されます。

項目の前に「▶」がついているメニューは、選択して<Enter>キーを押すとサブメニューが表示されます。

Phoenix TrustedCore(tm) Setup Utility					
Main	Advanced	Security	Server	Boot	Exit
				:	Item Specific Help
<pre>> Memory Configu > PCI Configu > Peripheral > Advanced Ch Boot-time D Reset Confi NumLock: Memory/Proc</pre>	iguration ration Configuraion ipset Control iagnostic Scree guration Data: essor Error:	en: [Disabled [No] [Off] [Boot]	J	Addin menu: Memor	tional setup s to configure ry devices.
F1 Help Esc Exit	$\begin{array}{c} \uparrow \downarrow & \text{Select I} \\ \leftarrow \rightarrow & \text{Select N} \end{array}$	item – /+ Ienu Enter	Change Valu Select ▶ Su	ues ub-Menu	F9 Setup Defaults F10 Save and Exit

項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説 明
Boot-time Diagnostic Screen	[Disabled] Enabled	「Enabled」に設定すると、POSTの内容を 画面に表示します。「Disabled」に設定する とNECロゴでPOSTの表示を隠します。 Console Redirection中は「Disabled」に設 定できません。
Reset Configuration Data	[No] Yes	Configuration Data(POSTで記憶している システム情報)をクリアするときは「Yes」 に設定します。装置の起動後にこのパラ メータは「No」に切り替わります。
NumLock	On [Off]	システム起動時にNumlockの有効/無効を設 定します。
Memory/Processor Error	[Boot] Halt	POSTでメモリまたはプロセッサに異常を検出 した際のPOST終了後の動作を選択します。 「Boot」でオペレーティングシステムをそのま ま起動します。「Halt」で動作を停止します。

[]: 出荷時の設定



Reset Configuration Dataを「Yes」に設定すると、ブートデバイスの情報 もクリアされます。Reset Configuration Dataを「Yes」に設定する前に、 必ず設定されているブートデバイスの順番を記録し、Exit Saving Changes で再起動後、BIOSセットアップメニューを起動して、ブートデバイスの順番 を設定し直してください。

Memory Configurationサブメニュー

Advancedメニューで「Memory Configuration」を選択すると、以下の画面が表示されます。

P	hoenix TrustedCore(tm) Setup Utilit	у
Advanced		
Memory Co	onfiguration	Item Specific Help
System Memory: Extended Memory: DIMM #1 Status: DIMM #2 Status: Memory Retest: Extended RAM Step:	601 KB 522752 KB Normal Normal [No] [Disabled]	Enables DIMM sparing feature.
F1 Help ↑↓ Select Esc Exit ←→ Select	Item – /+ Change Values Menu Enter Select ▶ Sub-Menu	F9 Setup Defaults u F10 Save and Exit

項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説 明
System Memory	-	基本メモリの容量を表示します。
Extended Memory	-	拡張メモリの容量を表示します。
DIMM #1 - #2 Status	Normal	メモリの現在の状態を表示します。
	Disabled	「Normal」はメモリが正常であることを示し
	Not Installed	ます。「Disabled」は故障していることを、
		「Not Installed」はメモリが取り付けられて
		いないことを示します(表示のみ)。
Memory Retest	[No]	メモリのエラー情報をクリアし、次回起動
	Yes	時にすべてのDIMMに対してテストを行いま
		す。このオプションは次回起動後に自動的
		に「No」に切り替わります。
Extended RAM Step	1MB	「1MB」は1M単位にメモリテストを行いま
	1KB	す。「1KB」は1K単位にメモリテストを行い
	Every Location	ます。「Every Location」はすべてにメモリ
	[Disabled]	テストを行います。メモリテスト中はス
		ペースキーのみ有効となり <f2>、<f4>、</f4></f2>
		<f12>、<esc>キーは無視されます。</esc></f12>

: 出荷時の設定

PCI Configurationサブメニュー

Advanced メニューで「PCI Configuration」を選択すると、以下の画面が表示されます。項目の前に「▶」がついているメニューは、選択して<Enter>キーを押すとサブメニューが表示されます。

Phoenix TrustedCore(tm) Setup Utility				
Advanced				
PCI Configu	ration	Item Specific Help		
▶ Onboard Video Controller ▶ Onboard LAN PCI Slot 1 Option ROM:	[Enabled]	Additional setup menus to configure onboard Video controller.		
F1 Help ↑↓ Select Item Esc Exit ←→ Select Menu	– /+ Change Values Enter Select⊧Sub-Men	F9 Setup Defaults u F10 Save and Exit		

項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説明
PCI Slot 1 Option ROM	[Enabled]	PCIボード上のオプションROMの展開を有効
	Disabled	にするか無効にするかを設定します。

[]: 出荷時の設定



ディスクアレイコントローラやLANボード(ネットワークブート)、Fibre Channelコントローラで、OSがインストールされたハードディスクドライブ を接続しない場合は、そのPCIスロットのオプションROM展開を「Disabled」 に設定してください。

Onboard Video Controllerサブメニュー

項目	パラメータ	説明
Onboard VGA Control	Disabled [Enabled]	オンボード上のビデオコントローラの有効/ 無効を設定します。

: 出荷時の設定

Onboard LANサブメニュー

項目	パラメータ	説明
Onboard LAN1 Control	Disabled	オンボード上のLANコントローラの有効/無
	[Enabled]	効を設定します。
Onboard LAN2 Control	Disabled	オンボード上のLANコントローラの有効/無
	[Enabled]	効を設定します。
LAN1 Option ROM Scan	[Enabled]	オンボード上のLANコントローラ1のBIOS
	Disabled	の展開の有効/無効を設定します。
LAN2 Option ROM Scan	[Enabled]	オンボード上のLANコントローラ2のBIOS
	Disabled	の展開の有効/無効を設定します。

[]: 出荷時の設定

Peripheral Configurationサブメニュー

Advancedメニューで「Peripheral Configuration」を選択すると、以下の画面が表示されます。

Phoenix TrustedCore(tm) Setup Utility					
Advanced					
Peripheral Confi	Peripheral Configuration				
Serial Port B: Base I/O address: Interrupt:	[<mark>Enabled]</mark> [2F8] [IRQ 3]	Configure Serial Port B using options :			
USB Controller: USB 2.0 Controller	[Enabled] [Enabled]	No configuration			
Serial ATA: Native Mode Operation: SATA RAID Enable:	EEnabled] [Auto] [Disabled]	User configuration			
F1 Help ↑↓ Select Item Esc Exit ←→ Select Menu	– /+ Change Values Enter Select⊳Sub-Mer	F9 Setup Defaults nu F10 Save and Exit			



割り込みベースI/Oアドレスが他と重複しないように注意してください。設定 した値が他のリソースで使用されている場合は黄色の「*」が表示されます。 黄色の「*」が表示されている項目は設定し直してください。

項目	パラメータ	説 明
Serial Port B	Disabled [Enabled]	シリアルポートBの有効/無効を設定します。
Serial Port B Base I/O address	3F8 [2F8] 3E8 2E8	シリアルポートBのためのベースI/Oアドレ スを設定します。
Serial Port B Interrupt	(IRQ 3) IRQ 4	シリアルポートBのための割り込みを設定し ます。
USB Controller	Disabled [Enabled]	USB Deviceの有効/無効を設定します。
USB 2.0 Controller	Disabled [Enabled]	USB2.0の有効/無効を設定します。
Serial ATA	Disabled [Enabled]	マザーボード上のシリアルATAコントロー ラの有効/無効を設定します。
Native Mode Operation	[Auto] Serial ATA	Native Mode Deviceを選択することができ ます。
SATA RAID Enable	[Disabled]	 オンボード上のSATAコントローラを使った ハードディスクドライブのRAID(ディスク アレイ)の有効/無効を設定します。 本装置は未サポートのため、設定を変更す ることはできません。 注:異なる設定でSATAハードディスクドラ イブから起動するとデータが壊れるおそ れがあります。

: 出荷時の設定

Advanced Chipset Controlサブメニュー

Advancedメニューで「Advanced Chipset Control」を選択すると、以下の画面が表示されます。



項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説明
Wake On LAN/PME	Disabled	標準装備のネットワークまたはPCIデバイス
	[Enabled]	(PCI Power ManagementをEnabledにする
		インベント)によるリモートパワーオン機能
		の有効/無効を設定します。
Wake On Ring	[Disabled]	シリアルポート(モデム)を介したリモー
	Enabled	トパワーオン機能の有効/無効を設定しま
		す。
Wake On RTC Alarm	[Disabled]	リアルタイムクロックのアラーム機能を
	Enabled	使ったリモートパワーオン機能の有効/無効
		を設定します。

[]: 出荷時の設定

Security

カーソルを「Security」の位置に移動させると、Securityメニューが表示されます。

	Phoenix TrustedCore(tm) Setup Utility									
	Ma	in	Adva	nced	Securi	ty	Server	В	oot	Exit
	Supe User Set Set Pass Fixe	ervisor r Passwo Supervi User Pa sword or ed disk	Passwo ord Is isor Pa assword h boot	ord Is: : assword d : sector:	Clear Clear [Enter] [Enter] [Disabled [Normal]]			Item Supervis controls setup ut	Specific Help sor Password s access to the cility.
	Powe	er Switc	ch Inh	ibit:	EDisabled]				
F	1 sc	Help Exit	$\begin{array}{c} \uparrow \downarrow \\ \leftarrow \rightarrow \end{array}$	Select Select	Item Menu	- /+ Enter	Change	Values	F9	Setup Defaults Save and Exit

Set Supervisor PasswordもしくはSet User Passwordのどちらかで<Enter>キーを押すと パスワードの登録/変更画面が表示されます。 ここでパスワードの設定を行います。

▼ 0 重要	•	「User Password」は、「Supervisor Password」を設定していない と設定できません。
	•	OSのインストール前にパスワードを設定しないでください。
	•	パスワードを忘れてしまった場合は、お買い求めの販売店または保守 サービス会社にお問い合わせください。

各項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説明
Supervisor Password Is	Clear	スーパーバイザパスワードが設定されてい
	Set	るかどうかを示します(表示のみ)。
User Password Is	Clear	ユーザーパスワードが設定されているかど
	Set	うかを示します(表示のみ)。
Set Supervisor Password	8文字までの英数字	<enter>キーを押すとスーパーバイザのパス ワード入力画面になります。このパスワー ドですべてのSETUPメニューにアクセスで きます。この設定は、SETUPを起動したと きのパスワードの入力で「Supervisor」で ログインしたときのみ設定できます。</enter>
Set User Password	8文字までの英数字	<enter>キーを押すとユーザーのパスワード 入力画面になります。このパスワードでは SETUPメニューのアクセスに制限がありま す。この設定は、SETUPを起動したときの パスワードの入力で「Supervisor」でログ インしたときのみ設定できます。</enter>

項目	パラメータ	説明
Password on boot	[Disabled]	起動時にパスワードの入力を行う/行わな
	Enabled	いの設定をします。先にスーパバイザのパ
		スワードを設定する必要があります。もし、
		スーパーバイザのパスワードが設定されて
		いて、このオプションが無効の場合はBIOS
		はユーザーが起動していると判断します。
Fixed disk boot sector	[Normal]	IDEハードディスクドライブに対する書き込
	Write Protect	みを防ぎます。本装置ではIDEハードディス
		クドライブをサポートしていません。
Power Switch Inhibit	[Disabled]	パワースイッチの機能を有効にするか無効
	Enabled	にするかを設定します。
		なお、強制電源OFF(4秒押し)は無効にで
		きません。

[]: 出荷時の設定

Server

カーソルを「Server」の位置に移動させると、Serverメニューが表示されます。

	Phoenix TrustedCore(tm) Setup Utility							
	Main	Advanced	Securi	ty	Server	B	oot	Exit
 S; C(E¹ A: FI Bi Bi Pi A: Pi Pi Pi 	vstem Mana onsole Rec vent Log C ssert NMI Ssert NMI RB-2 Polic oot Monitc oot Monitc oot Monitc sot Error S-LINK: ower ON De Latform Ev	igement lirection configuration on PERR: on SERR: cy: pring Policy: isor: Pause: clay Time: rent Filtering	[<mark>Enablec</mark> [Enablec [Disable [Retry 3 [Enablec [IR@ 11] [Enablec [Last St [20] g: [Enablec])))))))))))))			Item Addition view serv features	Specific Help al setup menus to ver management
F1 Es	Help c Exit	†↓ Sele ←→ Sele	ct Item ct Menu	- /+ Enter	Change Select	Values ▶ Sub-M	F9 enu F10	Setup Defaults Save and Exit

Server メニューで設定できる項目とその機能を示します。「System Management」と 「Console Redirection」、「Event Log Configuration」は選択後、<Enter>キーを押してサブ メニューを表示させてから設定します。

項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説 明
Assert NMI on PERR	Disabled	PCI PERRのサポートを設定します。
	[Enabled]	
Assert NMI on SERR	Disabled	PCI SERRのサポートを設定します。
	[Enabled]	
FRB-2 Policy	Disable FRB2 Timer	BSPでFRBレベル2のエラーが発生したとき
	[Disable BSP]	のプロセッサの動作を設定します。
	Do Not Disable BSP	
	Retry 3 Times	
Boot Monitoring	[Disabled]	起動監視機能の有効/無効とタイムアウトま
	5 Minutes	での時間を設定します。この機能を使用す
	10 Minutes	る場合は、ESMPRO/ServerAgentをインス
	15 Minutes	トールしていないOSから起動する場合には、
	20 Minutes	この機能を無効にしてください。
	25 Minutes	
	30 Minutes	
	35 Minutes	
	40 Minutes	
	45 Minutes	
	50 Minutes	
	55 Minutes	
	60 Minutes	

項目	パラメータ	説明
Boot Monitoring Policy	[Retry 3 times] Retry Service Boot Always Reset	起動監視時にタイムアウトが発生した場合 の処理を設定します。 [Retry 3times]に設定すると、タイムアウト の発生後にシステムをリセットし、OS起動 を3回まで試みます。 [Retry Service Boot]に設定すると、タイム アウト発生後にシステムをリセットし、OS 起動を3回まで試行します。その後、サービ スパーティション*から起動を3回試み、3回 とも失敗した場合は起動を停止します。 [Always Reset]に設定すると、タイムアウ ト発生後にOS起動を常に試みます。
		 * システムにサービスパーティションが存 在しない場合は、システムパーティショ ンからOS起動を無限に試みます。
Thermal Sensor	Disabled [Enabled]	温度センサ監視機能の有効/無効を設定しま す。有効にすると、温度の異常を検出した 場合にPOSTの終わりでいったん停止しま す。
BMC IRQ	Disabled [IRQ 11]	BMC (ベースボードマネージメントコント ローラ) に割り込みラインを割り当てるか どうかを選択します。
Post Error Pause	Disabled [Enabled]	POSTの実行中にエラーが発生した際に、 POSTの終わりでPOSTをいったん停止する かどうかを設定します。
AC-LINK	Stay Off [Last State] Power On	ACリンク機能を設定します。AC電源が再度 供給されたときのシステムの電源の状態を 設定します(下表参照)。
Power ON Delay Time(Sec)	[20] - 255	DC電源をONにするディレイ時間を20秒か ら255秒の間で設定します。AC-LINKで 「Last State」または「Power On」に設定 している場合に有効となります。
Platform Event Filtering	Disabled [Enabled]	BMC(ペースボードマネージメントコント ローラ)の通報機能の有効/無効を設定しま す。

: 出荷時の設定

「AC-LINK」の設定と本装置のAC電源がOFFになってから再度電源が供給されたときの動作を次の表に示します。

AC電道OFEの前の状態	設定					
	Stay Off	Last State	Power On			
動作中	Off	On	On			
停止中(DC電源もOffのとき)	Off	Off	On			
強制電源OFF*	Off	Off	On			

* POWERスイッチを4秒以上押し続ける操作です。強制的に電源をOFFにします。



無停電電源装置 (UPS) を利用して自動運転を行う場合は「AC-LINK」の設定 を「Power On」にしてください。

System Managementサブメニュー

Serverメニューで「System Management」を選択し、<Enter>キーを押すと、以下の画面が 表示されます。

Phoeni	TrustedCore(tm) Setup Util	ity
System Manag	ement	Item Specific Help
BIOS Version:	xxxx	All items on this meenu cannot be modified in
Board Part Number:	*****	user mode. If any
Board Serial Number:	xxxxxxx-xxxxxxxx	items require changes,
System Part Number:	xxxxxxx-xxxxxxxx	please consult your
System Serial Number:	xxxxxxx-xxxxxxx	system Supervisor.
Chassis Part Number:	xxxxxxx-xxxxxxx	
Chassis Serial Number:	xxxxxxx-xxxxxxx	
Onboard LAN1 MAC Address:	xx-xx-xx-xx-xx	
Onboard LAN2 MAC Address:	xx-xx-xx-xx-xx	
Management LAN MAC Address:	xx-xx-xx-xx-xx	
BMC Device ID:	01	
BMC Device Revision:	01	
BMC Firmware Revision:	01.00	
SDR Revision:	01.00	
	ŧ	
F1 Help ↑↓ Select Item	– /+ Change Values	F9 Setup Default

項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説明
BIOS Version	—	BIOSのパージョンを表示します(表示の
		$\partial \mathcal{H})_{\circ}$
Board Part Number	—	本装置のマザーボードの部品番号を表示し
		ます(表示のみ)。
Board Serial Number	—	本装置のマザーボードのシリアル番号を表
		示します(表示のみ)。
System Part Number	—	本装置のシステムの部品番号を表示します
		(表示のみ)。
System Serial Number	—	本装置のシステムのシリアル番号を表示し
		ます(表示のみ)。
Chassis Part Number	—	本装置の筐体の部品番号を表示します(表
		示のみ)。
Chassis Serial Number	—	本装置の筐体のシリアル番号を表示します
Onboard LAN1 MAC	_	標準装備のLANホート1のMACアドレスを
Address		
Unboard LAN2 MAC	_	標準装備のLANホート2のMACアドレスを
Management LAN MAC	_	「管理用LANホートのMACアトレスを表示し ます(まーの1)
Address		まり(衣小のみ)。
BIVIC DEVICE ID	_	BINLのナハ1 スIDを衣示しま 9 (衣示の
DMC Davias Revision		ϕ
BIVIC DEVICE REVISION	_	BMCのレビションを衣示します(衣示の
PMC Firmwore Devision		
DIVIC FILLIWALE REVISION		BIVICUD アームウェア レビションを衣示し ます (表示のみ)
SDR Revision		ち y (衣小いい)。 センサデータレコードのレビジョンを主子
SUN NEVISION		レキオ (表示のみ)
		$\frac{1}{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} $
I IA NEVISIUIT		フラットフォーム1 フフォスーフヨフエリ アのレビジョンを表示します (表示のみ)
		/ いし こ / ヨ / ご 衣 小 し の タ (衣 小 0 / 0 /)。

Console Redirectionサブメニュー

Serverメニューで「Console Redirection」を選択し、<Enter>キーを押すと、以下の画面が 表示されます。

	Phoenix TrustedCore(tm) Setup Utility							
				Server				
		Console Redi	rection			Item S	Specific Help	
BIC ACF Bau Ter Flc Rem	DS Redirection PI Redirection ud Rate: mminal Type: ow Control: note Console Re	Port: Port: set:	EDisabled EDisabled E19.2K3 EPC ANSI3 ECTS/RTS3 EDisabled3		S t d c	elects t o use fo ection. Disabled lisables tion.	he Serial port r Console Redi- " completely Console Redire-	
F1 Esc	Help ↑↓ Exit ←→	Select Item Select Menu	- /+ Enter	Change Val Select ► S	lues Sub-Menu	F9 F10	Setup Defaults Save and Exit	

項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説明
BIOS Redirection Port	[Disabled] Serial Port B	このメニューで設定したシリアルポートからDianaScopeやハイパーターミナルを使った管理端末からのダイレクト接続を有効にするか無効にするかを設定します。
ACPI Redirection Port	[Disabled] Serial Port B	OS動作中にACPIコンソールを接続するシリ アルポートを設定します。
Baud Rate	9600 [19.2K] 38.4K 57.6K 115.2K	接続するハードウェアコンソールとのイン タフェースに使用するボーレートを設定し ます。
Terminal Type	(PC ANSI) VT 100+ VT-UTF8	ターミナル端末の種別を選択します。
Flow Control	None XON/XOFF [CTS/RTS] CTS/RTS + CD	フロー制御の方法を設定します。
Remote Console Reset	[Disabled] Enabled	接続しているハードウェアコンソールから 送信されたエスケープコマンド(Esc R)に よるリセットを有効にするかどうかを選択 します。

: 出荷時の設定

Event Log Configurationサブメニュー

Server メニューで「Event Log Configuration」を選択し、<Enter>キーを押すと、以下の画 面が表示されます。

Phoenix TrustedCore(tm) Setup Utility							
	Server						
Event Log Configuration		Item Specific Help					
Clear All Event Logs: [<mark>Enter</mark>]		The system event log will be cleared if selecting "Yes".					
F1Help↑ ↓Select Item- /+EscExit←→Select MenuEnter	Change Values Select > Sub-Mer	F9 Setup Defaults nu F10 Save and Exit					

項目については次の表を参照してください。

項目	パラメータ	説明
Clear All Event Logs	Enter	<enter>キーを押すと確認画面が表示され、 「Yes」を選ぶと保存されているエラーログ を初期化します。</enter>

: 出荷時の設定

Boot

カーソルを「Boot」の位置に移動させると、起動順位を設定するBootメニューが表示されます。

		Phoenix	TrustedCore	(tm) Setup Uti	ility	
м	ain Adv	anced Se	curity	Server	Boot	Exit
1: 2: 3: 5: 6: 7: 8: 8: : : :	USB CDROM: IDE CD: MATS USB FDC: USB KEY: IDE HDD: PCI SCSI: #D PCI SCSI: #D PCI SCSI: #D PCI SCSI: #D PCI SCSI: #D USB HDD: PCI DEV: IBA	HITADVD-ROM SR- 50 ID06 LUNO SE GE SLot OC01 v 50 ID07 LUNO SE 50 ID08 LUNO SE 50 ID08 LUNO SE 50 ID08 LUNO SE 50 ID08 LUNO SE GE SLot OC01 v	-8178-(P EAGATE ST /0007 EAGATE ST EAGATE ST EAGATE ST EAGATE ST EAGATE ST /0007		Key con Up sel <+> the <xx the <ss dis</ss </xx 	Item Specific Help /s used to view or hfigure devices: and Down arrows lect a device. > and <-> moves e device up or down. > exclude or include e device to boot. hift + 1> enables or sables a device.
F1 Esc	Help ↑↓	Select Item	- /+	Change Value	s	F9 Setup Default

起動デバイスとして登録されたデバイスとその優先順位

表示項目	デバイス
USB CDROM	USB CD-ROMドライブ
IDE CD	ATAPIのCD-ROMドライブ
USB FDC	USBフロッピーディスクドライブ
USB KEY	USBフラッシュメモリなど
IDE HDD	ハードディスクドライブ
PCI SCSI	ハードディスクドライブ
PCI DEV	IBA GE Slot xxxx:本体標準装備のLAN。「Slot 0C00」がLAN1、「Slot 0C01」 がLAN2を表します。 その他の表示:本体のライザーカードに接続されているオプションのPCIボー ド。

- BIOSは起動可能なデバイスを検出すると、該当する表示項目にそのデバイスの情報を表示します。
 メニューに表示されている任意のデバイスから起動させるためにはそのデバイスを 起動デバイスとして登録する必要があります(最大8台まで)。
- デバイスを選択後して<X>キーを押すと、選択したデバイスを起動デバイスとして 登録/解除することができます。 最大8台の起動デバイスを登録済みの場合は<X>キーを押しても登録することはで きません。現在の登録済みのデバイスから起動しないものを解除してから登録して ください。 また選択後に<Shift>キーを押しながら、<1>キーを押すと選択したデバイスを有 効/無効にすることができます。
- <↑>キー/<↓>キーと<+>キー/<->キーで登録した起動デバイスの優先順位 (1位から8位)を変更できます。
 各デバイスの位置へ<↑>キー/<↓>キーで移動させ、<+>キー/<->キーで優先 順位を変更できます。

Exit

カーソルを「Exit」の位置に移動させると、Exitメニューが表示されます。

Phoenix TrustedCore(tm) Setup Utility									
Main	Adv	anced	Sec	curity	Server	Bo	oot	Exit	
Exit Savir Exit Disca Load Custc Save Custc Disacard C Save Chang	g Chang rding (Defaul m Defau m Defa hanges les	jes Changes ts ilts ilts	C Er	nter] hter]			Item Exit Sys save you CMOS.	Specific tem Setu r change	Help
F1 Help Esc Exit	$\begin{array}{c} \uparrow \downarrow \\ \longleftrightarrow \end{array}$	Select Select	Item Menu	- /+ Enter	Change Value Execute Comm	s	F9 F10	Setup D Save an	efaults d Exit

このメニューの各オプションについて以下に説明します。

Exit Saving Changes

新たに選択した内容をCMOSメモリ(不揮発性メモリ)内に保存してSETUPを終わらせる時 に、この項目を選択します。Exit Saving Changesを選択すると、確認画面が表示されます。 ここで、「Yes」を選ぶと新たに選択した内容をCMOSメモリ(不揮発性メモリ)内に保存し てSETUPを終了し、自動的にシステムを再起動します。

Exit Discarding Changes

新たに選択した内容をCMOSメモリ(不揮発性メモリ)内に保存しないでSETUPを終わらせたい時に、この項目を選択します。

次に「Save before exiting?」の確認画面が表示され、ここで、「No」を選択すると、変更し た内容をCMOSメモリ内に保存しないでSETUPを終了し、プートへと進みます。「Yes」を選 択すると変更した内容をCMOSメモリ内に保存してSETUPを終了し、自動的にシステムを再 起動します。

Load Setup Defaults

SETUPのすべての値をデフォルト値に戻したい時に、この項目を選択します。Load Setup Defaultsを選択すると、確認画面が表示されます。

ここで、「Yes」を選択すると、SETUPのすべての値をデフォルト値に戻してExitメニューに 戻ります。「No」を選択するとExitメニューに戻ります。





「SATA RAID Enabled」メニューを表示させるには、「Advanced」メニューの 「Peripheral Configuration」→「SATA Controller Mode Option」を「Enhanced」 に設定してください。

Load Custom Defaults

このメニューを選択して<Enter>キーを押すと、保存しているカスタムデフォルト値をロードします。カスタムデフォルト値を保存していない場合は、表示されません。

Save Custom Defaults

このメニューを選択して<Enter>キーを押すと、現在の設定値をカスタムデフォルト値として 保存します。保存すると「Load Custom Defaults」メニューが表示されます。

Discard Changes

CMOSメモリに値を保存する前に今回の変更を以前の値に戻したい場合は、この項目を選択します。Discard Changesを選択すると確認画面が表示されます。 ここで、「Yes」を選ぶと新たに選択した内容が破棄されて、以前の内容に戻ります。

Save Changes

新たに選択した内容をCMOSメモリ(不揮発性メモリ)内に保存する時に、この項目を選択します。Saving Changesを選択すると、確認画面が表示されます。

ここで、「Yes」を選ぶと新たに選択した内容をCMOSメモリ(不揮発性メモリ)内に保存します。

CMOSメモリ・パスワードのクリア

本装置が持つセットアップユーティリティ「SETUP」では、本装置内部のデータを第三者から保護するために独自のパスワードを設定することができます。

万一、パスワードを忘れてしまったときなどは、ここで説明する方法でパスワードをクリアす ることができます。

また、本装置のCMOSメモリに保存されている内容をクリアする場合も同様の手順で行います。



パスワード/CMOSメモリのクリアはマザーボード上のコンフィグレーションジャンパスイッ チを操作して行います。ジャンパスイッチは下図の位置にあります。





それぞれの内容をクリアする方法を次に示します。





- 1. 100ページを参照して準備をする。
- 2. 本体をラックから引き出す(24ページ参照)。
- 3. トップカバーを取り外す(102ページ参照)。
- 4. クリアしたい機能のジャンパスイッチの位置を確認する。
- 5. ジャンパスイッチの設定を変更する。 前ページの図を参照してください。
- 6. 5秒ほど待って元の位置に戻す。
- 7. 取り外した部品を元に組み立てる。
- 8. 電源コードを接続して本体の電源をONにする。
- <F2>キーを押してBIOS SETUPユーティリティを起動し、Exitメニューから 「Load Setup Defaults」を実行する。

割り込みライン

割り込みラインは、出荷時に次のように割り当てられています。オプションを増設するときなどに参考にしてください。

IRQ	周辺機器(コントローラ)	IRQ	周辺機器(コントローラ)
0	システムタイマ	12	マウス
1	キーボード	13	数値演算プロセッサ
2	—	14	プライマリIDE
3	COM 2シリアルポート	15	セカンダリIDE
4	COM 1シリアルポート	16	USB
5	PCI	17	VGA
6	_	18	—
7	PCI	19	USB
8	リアルタイムクロック	30	LAN1
9	ACPI Compliant System	31	LAN2
10	PCI	49	SAS1
11	BMC IRQ	51	SAS2

УЕ